


ふりがな 氏名	チア ム カイ デニス Chia Mu Kai Dennis	都道府県	東京都	
所属/肩書	東京大学大学院修士			
私のESD活動	多角的視点から災害と文化を学び、持続可能な将来の実現するためのヒントを探る			
ESD活動を表すキーワード	意識	革新	創造力	

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

東日本大震災後に瓦礫撤去や産業訪問など、数々な活動に関わっていた。しかし、時間が経つにつれ、東北の沿岸部の課題が変わっていくので、とりあえず現状を知って現地から学ぶべきだということで、2014年に11ヶ国からの参加者を集め、宮城県南三陸町でスタディツアーを行った。スタディツアーのテーマは「過去を振り返りながら前を向く」。私は特に「前を向く」ことにこだわっている。震災後に、語り部などの「震災を振り返る」ことを目的とした活動が多いが、私から見ると、振り返ることは否定しないが、「あれから5年」ではなく、「これから5年」というところに焦点を当てたほうがいいのではないかと思った。震災をきっかけにエネルギー問題、防災、都市計画などといった様々な社会問題が浮き彫りになった。そのため、現在行われている活動のほとんどは「持続可能な将来」を目指しているのではないかと思う。そういう「持続可能な将来」を目的にした活動について学ぼうと思って活動を企画し始めた。ちなみに、活動資金はクラウドファンディングで調達した。

スタディツアーで訪問した方は次の通り。本来なら漁業が盛んな南三陸町は震災によって破壊され、その代わりに農業に目を向けて活動し、現在は南三陸町最大級の農場を運営しているOGAというNGOのアメリカ人女性代表、電子部品を扱っていた工場が流され現在は鞆作りに励んでいる会社社長、南三陸町のゆるキャラにもなったオクトパス君の工房の方などなど。

成果として、私達は南三陸町では革新的な試みが行われていることを学んだこと。中でも、参加者のひとりが既にOGAの方と次のステップについて話し合いをされている。

・デニスのブログ <http://dennischia.com/2014/09/08/studytour/>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？

ESDにおいて「意識を高める」ことが核心となると思うので、メディアではあまり取り上げられていないことに焦点をあてるようなイベントを企画しようと考えている。現在は、インドやネパール在住のチベット難民に関する映画を学校内で上映する企画を主催している。多角的視点から物事を見ることによって、視野が広がるので、今後は同様なイベントに参加したり企画したりしたいと考えている。

また、1年前からNGOピースポートとピースポート災害ボランティアセンター(PBV)でインターンシップをさせていただいて、災害管理において大変興味があるので、今後も研究を含め、災害とESDなど、ESDの中身の関連性について調べていきたいと考えている。